

# クマによる被害を出さないための注意点

(図②)

## 山でクマと 会わないために

## 家の近くにクマを 引き寄せないために

### ①入山しようとする地域で クマの出没情報はないか注意する。

府広域振興局や市町村、地元住民から情報を集めて入山してください。

### ②クマの形跡がある ところには行かない。

新しいクマの糞、足跡などを見つけたらあわてず注意しながら行動してください。

林外の安全な場所が近くにある場合は、すぐに移動してください。

### ③突然クマと出会わないよう、 自分の存在を知らせる。

クマは臭覚が優れ、耳も人間より優秀です。たいてい人より先に人間の接近を知れば遠ざかるので、笛や鈴、ラジオを鳴らして歩きましょう。

### ④クマが活発に行動する朝夕の行動は特に注意を。

朝夕、人の活動が静まる時間帯にクマは行動が盛んになります。朝夕の山中での行動は十分注意してください。

### ⑤霧や風の日、川の近くでは注意する。

山中でこのような場面ではクマも感覚能力が発揮できず、人の気配に気づかず近くまで接近してしまうことがあります。

### ⑥子グマを見たら絶対に 近づかない。

近くに必ず親グマがいます。近づいたりすると子グマを守るため襲ってくる場合があります。すぐにその場から立ち去りましょう。



### ①家の周りには残飯を捨てないでください。

クマは、腐りかけた肉なども大好きです。

コンポストから出てくる悪臭はクマを呼び寄せることとなります。



### ②キャンプ地等 ではゴミや残飯 の管理を徹底してください。

味が付いた袋や空き缶などもクマを呼び寄せることとなります。

臭いが出ないようにビニール袋に密封して持ち帰ってください。



### ③ハチの巣は取り除く。

クマはハチミツが大好物です。ハチの巣はクマを呼び寄せるものになりますので取り除きましょう。



### お問い合わせ先

市役所農林整備課

☎〇七七一—六八—〇〇二二

各支所産業建設課

八木 ☎六八—〇〇二四

日吉 ☎六八—〇〇三四

美山 ☎六八—〇〇四三

山地にすみ、子育て中の親子以外は単独生活をします。体長は百二十〜百五十センチで、木の若芽や果実などの植物質のものから、昆虫やカエル・ネズミ・大型哺乳類まで食べます。しかし、大型の動物を襲ってまで食べることはあまりありません。冬期には樹木の穴や岩穴、土の穴にこもって冬眠します。雌は冬眠中に一〜二頭の子を産みます。



ツキノワグマ